

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム
短期インターンシップ報告会を開催しました。

広島大学大学院放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムでは、マツダ株式会社で短期インターンシップを実施した大学院生による短期インターンシップ報告会を開催しました。

今回の短期インターンシップ報告会（平成 26 年 12 月 22 日開催）では、マツダ株式会社で短期インターンシップを実施した大学院生による報告が行われました。報告では、大学院生の母国ロシアの交通事情を調査し、交通事故の際に迅速な救助を行うための GPS 等を利用した交通管理システムの稼働計画の現状と問題点が論じられました。

また、今回のインターンシップがどのように自分の研究分野と関連していたと考えるかという質問に対して、学生は、自身の分野においても大量の情報の取捨選択と分析は非常に重要な仕事であり、その意味で研究にも繋がりうる関連性を見出すことができたと答えました。

なお、報告会は、テレビ会議システムを通じて東広島及び霞キャンパスや連携機関に中継しました。大学院生は発表資料を英語で作成し、報告・質疑応答も英語で行いました。

